

来週の「売り物記事」はこれ



2019年6月14日号

毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

「元ボリショイソリストの再出発」

16日(日)



ストーリー

バレエの芸術監督で、元ボリショイソリストの岩田守弘さん(48)は30年近く、ロシア・バレエ界で活動してきました。今月上旬で、7年在籍したシベリアのブリャート共和国国立歌劇場バレエ団を退団します。「燃え尽きた」と話す岩田さんが、今のバレエ団に残した功績は何か、新たにどんな夢を抱いているのか。10年にわたって取材してきた記者が、転機を迎えた今の姿を追います。



この国はどこへ これだけは言いたい

作家 下重暁子さん 83歳

夕刊特集ワイド 18日(火)

職業軍人の娘に生まれ、9歳の時、終戦を迎えた作家の下重暁子さん(83)。敗戦時に味わった大きな挫折が、その後、自立した一人の人間として生きていこうと決意した原点だと言います。「自分で食べる」(経済的自立)、「自分で決める」(精神的自立)を旨としてきました。自分のことは自分で判断していくには、「直感」を研ぎ澄ますことが大切だと説きます。

食中毒 加熱・冷蔵にご用心

くらしナビ面 18日(火)

暑くなると気になるのが食中毒。原因菌を「付けない」「増やさない」「やっつける」が家庭での予防3原則です。加熱すればいい、冷蔵庫で保存すれば大丈夫と思いがちですが、熱や冷温に強い食中毒菌もいます。原因になる主な食品や特徴、家庭でできる対処法について紹介します。

「アニマルクライシス サクラエビ」

環境面 19日(水)

国内では唯一、駿河湾(静岡県)で行われているサクラエビ漁で近年、記録的な不漁が続いています。資源確保を優先してすべて取りやめた昨年の「秋漁」に続いて、今年の「春漁」でも水揚げがふるわず、漁期の途中で打ち切る事態となっています。静岡支局の大谷和佳子記者らが漁を統括する組合長や生息調査の現場などを取材しました。

克服体験談は「成功確率」で判断を

くらしナビ面 19日(水)

「免疫力を高めればがんを打ち勝てる」などと、病気を抱える人の気持ちにつけ込む宣伝や体験談がインターネットなどにあふれています。「医師が発信した情報だから信頼できる」と思っても、信憑性に疑問符が付くものも少なくありません。確かな医療を賢く選ぶ術を紹介するシリーズ「賢い選択」の新企画で、こうした情報の真がんとをいかに見抜くかについて取り上げていきます。

五輪チケット抽選結果発表

運動面 21日(金)

2020年東京五輪チケットの抽選結果が20日に発表されます。公式販売サイトへの累計アクセス数は受け付けを締め切った5月29日午前時点で約2425万件と人気を集めました。結果はメールや公式サイトで発表されますので、当選者の表情などをお伝えします。今回、抽選に外れても今秋には先着順販売があり、来春には窓口販売や公式リセールもあります。

論点 「川崎殺傷事件に見る世相」

オピニオン面 21日(金)

5月末、川崎市で児童ら20人が死傷した事件が起きました。容疑者が自殺し直接の動機は分かりませんが、秋葉原無差別殺傷事件や大阪教育大付属池田小事件など平成以降の重大事件を連想した人も多いようです。背景にある社会の変化をノンフィクション作家の吉岡忍さん、誰もが被害を受けうる事件での被害者支援のあり方を諸沢英道・常磐大元学長にそれぞれ聞きます。

世界保健機関（WHO）が認知症予防の指針

くらしナビ面 21日(金)

2025年には約700万人と推計されている認知症。政府が認知症施策の大綱策定を進めています。5月には、世界保健機関（WHO）が予防のための指針を公表。運動の習慣を持つことや、禁煙することなどを強く勧めています。高血圧や糖尿病にも要注意です。WHO指針の12項目を紹介します。

※ 場合によっては内容が変更することがあります。